

2019. 8. 01

# 歴史民俗資料館だより No.130

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

## くんち資料展

会 期 8月22日(木)～10月13日(日)

展示品 くんち衣装・今年の踊町の写真・絵画  
・書蹟・記念品・絵葉書等 約100点



愛宕焼 花器 (中原仁市作 長崎土壺)  
大正時代 (1912～1925)

野々村 俊明氏寄贈

くんち踊町の龍踊等の演し物がレリーフされています。

### くんちについて

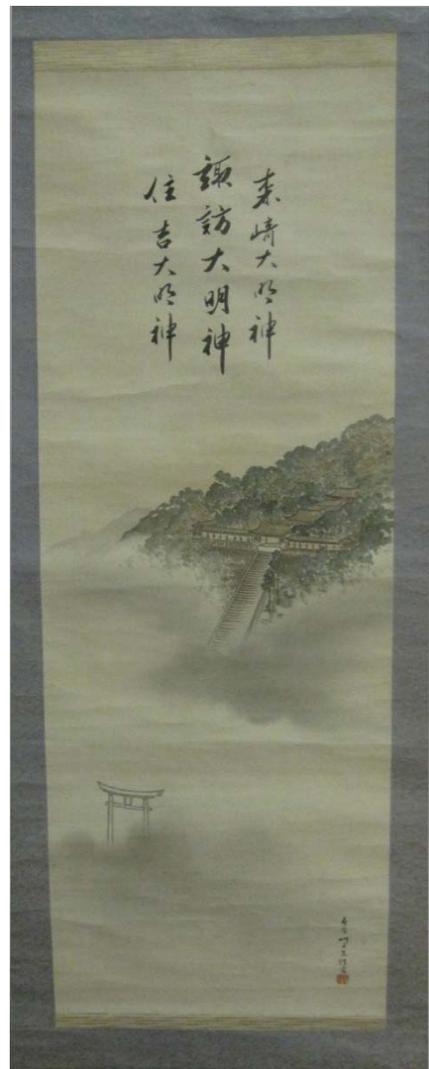
重陽の節句、菊の節句の9月9日、この9日のくんにちが「くんち」になったと言われています。

寛永11(1634)年に長崎諏訪神社の秋の大祭「くんち」が始まり、今年で385年となります。

長年の間に、江戸時代の大火災、昭和の戦災や大水害、そして町名変更などをへて、時代と共に7年に1度出演する踊町の数や組合せ、演(だ)し物の多くが変化してきました。

今年の踊町は、今博多町の傘鉾・本踊、魚の町の傘鉾・川船、玉園町の傘鉾・獅子踊、江戸町の傘鉾・オランダ船、籠町の傘鉾・龍踊の5ヶ町です。

今回の展示に際しまして、貴重な資料を御寄贈、御提供いただきました皆様方と、今年の踊町の八尋会様や関係者各位に深く御礼申し上げます。



西村草文筆 諏訪乃森図

大正八年(一九一九) 個人蔵

西村草文 京都生まれ  
明治2年(1869)～昭和15年(1940)  
久保田米僊に師事して日本画を学び、  
博多の住職西村氏の婿養子となる。

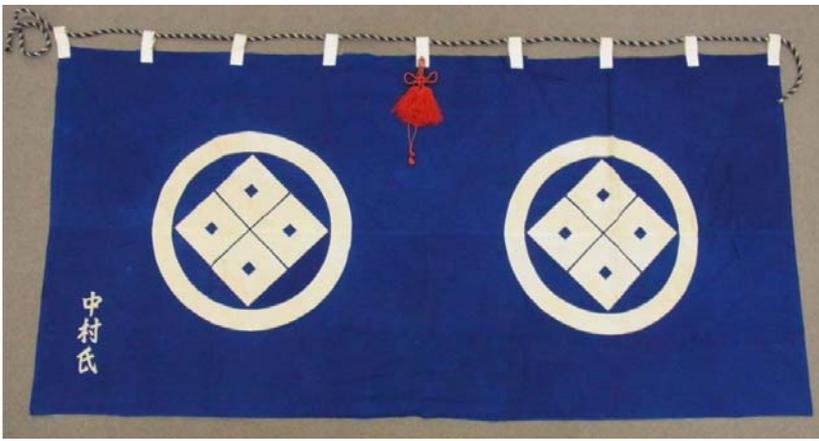
### 諏訪神社

諏訪神社は、諏訪大明神を主神とし、住吉大明神と森崎大明神が祭られています。

諏訪神社では寛永3(1626)年はじめて神楽を奏し湯立神事が行なわれましたが、大祭の最初は寛永11(1634)年でした。この時の社地は、まだ現在の玉園山に移る前の円山(現、松ノ森神社)で、9月7日、遊女高尾・音羽の両人が神前に謡曲小舞を奉納。午後、神輿が波止場の御旅所に渡御して、8日が大祭で、御旅所で湯立神事が執行され、9日無事神輿は還御されました。

そして、慶安元(1648)年に玉園山に遷宮し、今に至っています。

なお、江戸時代の太陰暦の9月は、現在の太陽暦の10月に相当します。



家紋まん幕  
昭和 17 年(1942) 峰 道子氏寄贈

### 家紋まん幕

長崎くんちの踊町は、小屋入り、庭見世、人数揃い、前日、中日、後日に家紋入りの幕を張ります。

この幕は桶屋町の中村家で使用され、隅立四つ目紋が染められています。使用時は中心を上朱紐で結びます。



長崎方御社之図  
岡月州筆 明治 11 年 (1878) 個人蔵



江戸町 兵式教練遊軍士官衣装  
大正 2 年 (1913) 川添弘之氏寄贈



駅前町(現、大黒町)の唐人船 船頭衣装  
昭和 36 年(1961) 中川雅夫氏寄贈



清水崑筆 おくんちかつぱ屏風  
昭和 45 年(1970)頃 清水梢太郎氏寄贈